奥山に猫またといふものありて

年　組　番

得点　／30

問一　次の傍線部の読みを現代仮名遣いを用いて平仮名で書きなさい。

①　食らふなる　（　　）　②　行願寺　（　　）

③　胆心も失せて　（　　）　④　希有にして　（　　）

問二　次の傍線部の語句の意味としてあてはまるものを**ア**～**ウ**から選び、記号で答えなさい。

①　音に聞きし猫また　**ア**鳴き声を聞いた　**イ**噂に聞いた　**ウ**立派な　（　　）

②　ひとりありかん身　**ア**暮らしている　**イ**家に帰る　**ウ**歩き回る　（　　）

③　このわたり　**ア**小川の渡し　**イ**ここ最近　**ウ**この辺り　（　　）

④　はふはふ家に入りぬ　**ア**ぼうぜんと　**イ**はうように　**ウ**息も絶え絶えに　（　　）

問三　次の傍線部の動詞の活用の種類と活用形を、例にならって答えなさい。

（例）老い衰へ給へる　（ヤ行上二段活用　連用形）

①　ありける　（　　活用　　形）

②　助けよ　（　　活用　　形）

③　心すべき　（　　活用　　形）

④　寄り来て　（　　活用　　形）

⑤　立たず　（　　活用　　形）

問四　次の傍線部の助動詞の意味を**ア**～**ケ**から選び、それぞれ記号で答えなさい。

①　食はんとす　（　　）　②　心すべきこと　（　　）

③　見知れる僧　（　　）　④　水に入りぬ。　（　　）

ア完了　**イ**存続　**ウ**強意（確述）　**エ**推量　**オ**意志　**カ**当然　**キ**命令　**ク**断定　**ケ**打消

奥山に猫またといふものありて

☆解答例と配点

問一　①くらうなる　②ぎょうがんじ　③きもこころ　④けう〈1点×4〉

問二　①**イ**　②**ウ**　③**ウ**　④**イ**〈2点×4〉

問三　①ラ行変格・連用　②カ行下二段・命令　③サ行変格・終止　④カ行変格・連用
⑤タ行四段・未然〈2点×5〉

問四　①**オ**　②**カ**　③**イ**　④**ア**〈2点×4〉

（計30点）